

拠点名：東北先進医療研究開発連携拠点

(TAMRIC：Tohoku Advanced Medical Research and Incubation Center)

全体構想：東北大学に集積している資源と研究の強みを活かし、宮城県における医療・創薬の関連産業を振興するとともに、東北地方が医療・創薬の関連企業の新たな集積地となることを目指し、結果として東北地域全体の産業経済活性化につなげていく。

期待される地域活性化

東北大学病院が有する膨大な患者検体群や、東北大学の各研究科・研究所が有する高度な研究技術と、ユニークな研究成果を核とした産学官連携研究への取組が、飛躍的に強化されることが期待される。

主な共同研究開発課題

【東北大学と地域企業の連携による R&I 推進】

- 1) 医療機器開発 (診断): 工学と医学の融合連携を進め、胎児心電図測定器、情報科学を駆使した特殊画像診断法や遠隔診断法、ナノパブル技術を応用したがん診断装置などを開発する。
2) 医療機器開発 (治療): 医工学領域で、吸収性材料による動脈硬化治療ステント、次世代保育器などを地域企業と共同して開発する。
3) 診断マーカー開発: ナノ粒子技術とマーカータンパク質検出法を合体させた膵臓癌や転移癌などの難治性がんの診断法、タンパク質絶対定量質量分析法を駆使したマーカータンパク質による早期がん診断法、簡便な染色体検査法などを開発する。

【東北大学と地域外企業等との連携による R&I 推進】

- 4) 新薬開発: 膵臓ランゲルハンス氏島再生誘導、酸化ストレス防御能活性化、子宮筋腫、自己免疫疾患、動脈硬化、肺がん、乳がんなどの疾患において治療標的分子候補や、新規標的分子に関する製薬企業と共同研究を行う。
5) モデル動物開発: 超免疫不全マウスを用いたヒト化モデル動物などによる概念検証を行う。

提案機関：官：宮城県および仙台市
学：国立大学法人東北大学
産：社団法人東北経済連合会

参画機関：独立行政法人理化学研究所横浜研究所、株式会社インテリジェント・コスモス研究機構

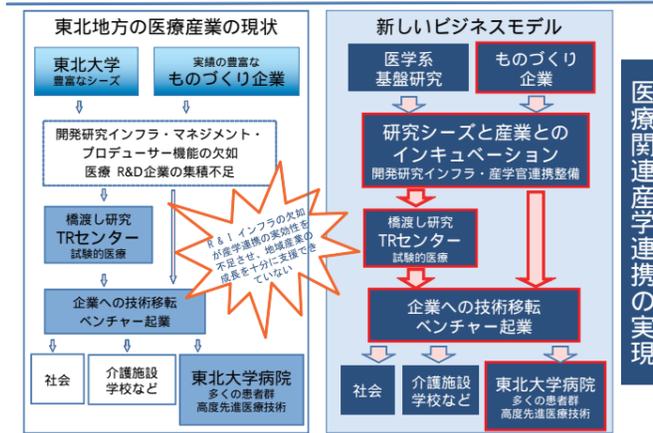
運営体制：事業運営委員会

- センター長 山本 雅之 (東北大学・大学院医学系研究科・研究科長)
副センター長 五十嵐和彦 (東北大学・大学院医学系研究科・副研究科長)
副センター長 宮田 敏男 (東北大学・創生応用医学研究センター・センター長)
副センター長 後藤 昌史 (東北大学・未来科学技術共同研究センター・教授)
連携担当 中山 啓子 (東北大学・大学院医学系研究科・医科学専攻長)
広報担当 八重樫伸生 (東北大学・未来医工学治療開発センター・副センター長)
広報担当 玉水 敏明 (東北大学・研究協力部産学連携課・課長)
連携担当 安住 順一 (宮城県・経済商工観光部新産業振興課・課長)
連携担当 宮田 寛之 (仙台市・産業創出部産学連携推進課・課長)
連携担当 高玉 昌一 (社団法人東北経済連合会・理事・産業経済部長)

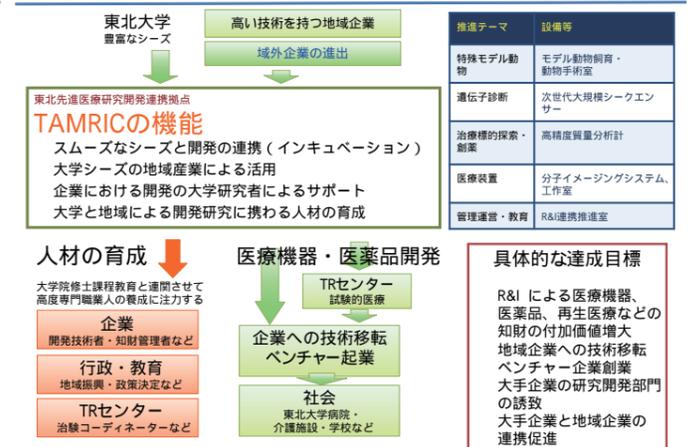
拠点事務局 東北大学医学系研究科細胞増殖制御分野内

宮城県仙台市青葉区星陵町 2 - 1 Tel. 0 2 2 - 7 1 7 - 8 2 2 7
Email: info@tamric.org URL: http://www.tamric.org/

東北地方医療関連産業創出の新しいモデル



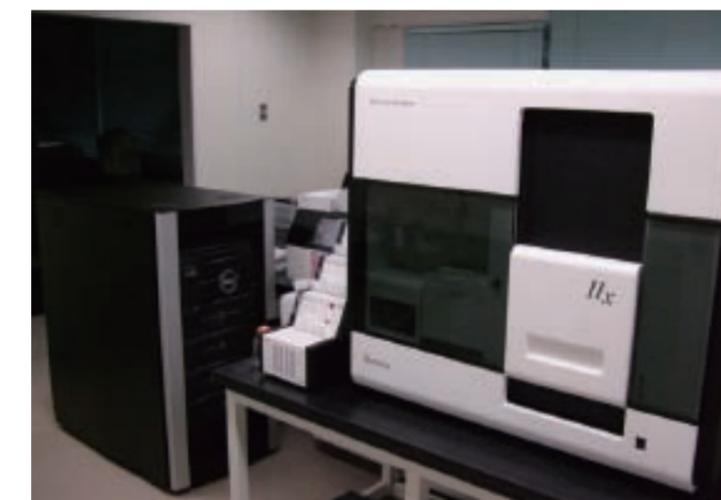
本拠点での事業化を支える仕組み



本拠点による先進医療推進と産業化の戦略



施設拠点 医学系総合研究棟 1階に機器室を整備



ゲノムアナライザー



質量分析システム